

シンポジウム「世界遺産・平泉に学ぶ」、東京で開催



平成23年10月23日、東京文化財研究所を中心とする「世界遺産シンポジウム実行委員会」に神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会も参加して、シンポジウム「世界遺産・平泉に学ぶ」が東京国立博物館・平成館講堂で開催されました。基調講演や公開討論などが行われ、鎌倉の世界遺産登録についても触れられました。以下、要旨をご紹介します。

基調講演 文化庁長官・近藤誠一さん

日本が考えている価値と世界遺産委員会の価値にずれがあり、どう埋めるかが課題だ。委員会は地域配分のバランスを欠いている。専門家は西欧に多く、条約の解釈も西欧に傾きがちだ。今後の委員会の運営における重要な課題である。

平泉は石見銀山における「緑の鉱山」といったキャッチフレーズがなく、苦戦するかなと思っていた。9か所から資産を思い切って削ったが、今回登録から外れた柳之御所跡は、日本的価値をつなぐストーリーを保つものとして、いずれ世界遺産委員会やイコモスに提案したいと思っている。

問題提起 国立西洋美術館館長・青柳正規さん

世界遺産は地域主義とカタログ登録主義に問題を抱えている。国立西洋美術館などル・コルビュジェ

の建築群は多国間にまたがる地域の文化遺産で、国単位の国連の下部組織であるユネスコに新たな課題を突き付けている。

資産紹介

鎌倉、国立西洋美術館、百舌鳥・古市古墳群の3件が紹介され、鎌倉市からは世界遺産登録推進担当より、鎌倉がこれまでの国内の世界遺産の枠を超えて、文化財保護法と古都保存法によって保護される地域を合わせて推薦されることなどが説明されました。

公開討論「世界遺産と都市」

国士館大学教授・岡田保良さん

平泉と鎌倉は都市を都市として作ろうという初期の段階だったと思う。平泉は公家文化の延長、藤原文化の延長であり、鎌倉は、武家が古代秩序を打ち破った都市を模索した結果、山と海に囲まれた形になった。東京大学大学院教授・佐藤信さん

平泉は登録のコアになるのはお寺の遺跡と庭園だがもう少し都市として見てほしかった。中世都市鎌倉のコアになっているのは鶴岡八幡宮をはじめ山沿いのお寺が多い。中心地をどのように説明するかが課題である。京都府立大学准教授・宗田好史さん

歴史都市はこれから造っていくものである。ヨーロッパでは都市部を造ってきた。これから20年30年たつて、鎌倉にふさわしい都市にするための計画があるのかどうか問われる。歴史都市を造っていくという努力が足りない。

震災復興を願い「寺社特別拝観めぐり」開催

春の「鎌倉まつり」の一環として開催を予定していた寺社特別拝観めぐりは、東日本大震災の影響により中止となりましたが、改めて震災の復興祈願をこめ、10月3日(月)～10月7日(金)にかけて推進協議会・内海恒雄広報部会長の案内により行われました。世界遺産候補地の社寺にお願いして、通常公開されていない部分も含めた史跡や文化財の特別拝観をさせていただきました。

10月3日建長寺では、山門の五百羅漢像、西来庵の昭堂や禅居院などを特別拝観しました。10月4日覚園寺では、副住職のご案内で千躰地藏堂や、開山

塔、大燈塔を特別拝観しました。その後永福寺跡を見て、瑞泉寺では仏殿などを特別拝観しました。10月5日は高德院庭園の特別拝観や大仏切通などを巡る予定でしたが、雨天中止となりました。10月6日寿福寺では仏殿を特別拝観し、その後浄光明寺では阿弥陀三尊像などを拝観しました。10月7日県立金沢文庫では、学芸課長の西岡芳文さんから金沢文庫の歴史についてお話を伺い、開催中の企画展などを見学しました。その後称名寺では、本堂などを特別拝観しました。



称名寺庭園



News! the 世界遺産

第5回鎌倉世界遺産登録推進に向けた中学生作文コンクール

たくさんのご応募ありがとうございました！

中学生の皆さんに世界遺産登録について考え参加してもらおうと始まった「中学生作文コンクール(鎌倉市青少年指導員連絡協議会・推進協議会主催)」。5年目のテーマは「『武家の古都・鎌倉』の価値とは何か?」という少し難しいものでしたが、夏休みを利用して、よく調べ研究された内容の濃い392作品が寄せられました。

推進協議会の中で選考を重ね、最終選考は16作品に絞られました。いずれも『武家の古都・鎌倉』の価値を見事に紹介した素晴らしい作品であるため、16人に賞を差し上げることになりました。

1月14日(土)に市議会本会議場で表彰式を行います。最優秀作品は次号に掲載してご紹介します。

Event! the 世界遺産

第55回鎌倉まつり「鎌倉の世界遺産登録をめざして」

講演『「武家の古都・鎌倉」の今』と寺社特別拝観めぐり

今回のメインテーマも「鎌倉の世界遺産登録をめざして」です。今年も若宮大路のパレードに当推進協議会も参加します。世界遺産候補地の特別拝観と講演会は当協議会主催行事です。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

鎌倉まつり期間 平成24年4月8日(日)～4月15日(日) (鎌倉市観光協会主催)

プログラム

- ① 8日(日) …… 若宮大路パレード
- ② 9日(月)～13日(金) …… 世界遺産候補地の寺社特別拝観めぐり (推進協議会主催)
 昨年は覚園寺千躰地藏堂・瑞泉寺仏殿・建長寺三門・西来庵・禅居院・寿福寺仏殿・称名寺本堂などを特別拝観しました。今年も同規模の特別拝観を寺社にお願いして実施する予定です。
- ③ 14日(土) …… 14時～16時半「もっと知ろう、世界遺産」(推進協議会主催)
 『「武家の古都・鎌倉」の今～世界文化遺産登録の最前線～』講師：岡田保良さん(国士舘大学イラク古代文化研究所所長)
 ところ／さらら鎌倉(鎌倉生涯学習センター) ホール 定員／280名(申込先着順) 参加費／無料

※福田誠さん(鎌倉市文化財課)によるよ永福寺跡発掘調査報告と今年度「世界遺産登録に向けての中学生作文コンクール」受賞者の朗読、県立鎌倉高校の生徒による「かまくら学」研究発表も予定しています。

お問い合わせ／上記のプログラムの詳細は、下記事務局へ。

その他、鎌倉まつりの全般的なことは、鎌倉市観光協会(☎0467-23-3050)まで。

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

世界遺産登録は従来どこの県も知事が先頭に立って推進してきましたが、今回の黒岩県知事との会見でそれが確認できました。この段階では県市が連携して政府等の国内から外国にも働きかける必要があります。推進協議会の諸事業も神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市四県市の体制で実施していく時期になりました。

近藤文化庁長官の話から始まったドナルド・キーンさんの講演会が実現しました。その講演とシンポジウムでは、国際社会から見た鎌倉の歴史と文化の評価が示され、世界文化遺産としての鎌倉の価値を改めて認識することができました。

この一月には「武家の古都・鎌倉」の推薦書が正式版でユネスコに提出され、それに基づき夏には鎌倉の現地調査が行われる見通しです。そこでは市民の盛り上がりも重要な要素です。活動の活性化が望まれます。

編集後記

【編集委員】大竹正芳 香山 隆 菊池威雄 草場圭三 小池潮里 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 長山元彦 能登原秀実 萩野なおみ 福澤健次 牧れい花 森まなみ 【デザイン】澤田ながえ

鎌倉世界遺産登録インフォメーション&放送スケジュール

インターネット

●鎌倉世界遺産登録推進協議会HP <http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>

FMラジオ

●鎌倉FM(82.8MHz) …… 毎週金曜 19:10～19:30 「鎌倉世界遺産への道」

ケーブルテレビ

●JCN 鎌倉 …… 毎週木曜 17:10～(当日再放送あり) 7Days デイリー 『一問一答! 鎌倉検定の道』

鎌倉世界遺産登録推進協議会
事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10 (鎌倉市世界遺産登録推進担当)

Tel.0467-61-3849 Fax.0467-23-1085 E-mail:sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp